

高圧ウォータージェット工法 活用推進へ新団体発足

九州から全国に

アスベストを安全・適正除去



岡県議会議員の原口劍生氏、福岡県建築都市部長の永山慎治氏が出席した。

「この工法は建築物の解体、改修時におけるアスベストの飛散防止に極めて有効と聞く。今後、老朽化した建物の解体や改修の増加が予想されており、専門的な技術の普及と事業者の育成に期待している」、福岡県建築都市部長の永山氏が「建物に応じた適切な工法の選択が確実な除去につながる」と考えており、この工法が選択肢の一つとして普及・発展していくことを願っている」などと語った。

工業会は、高圧ウォータージェットの利用を推進するため、各種基準の統一、技術の円滑な水平展開、専門業者の早期育成・機械情報の共有化を目的に発足。会員は、(株)ハットリ工業、(株)キューボウ、(株)トヨー商会、九州

防水(株)、(株)シンエイ、(株)NOVATION、小島建興(株)九州支店の8社で構成する。設立総会には、会員企業の代表のほか、来賓として衆議院議員の大家敏志氏(代理)、福岡県議会議長の秋田章二氏、福

岡県議会議長の秋田氏が「この工法は建築物の解体、改修時に諸問題の解決に貢献できると確信している。適正処理に向けた各種基準の統一に取り組みとともに、施工・検査マニュアルを作成し、九州から全国に発信していきたい」とあいさつした。来賓あいさつでは、福岡県議会議長の秋田氏が

アスベスト除去に関しては建物の解体や改修が今後ピークに向かうとの予想の中、調査漏れや取り残しのない適正処理が強く求められているところ。工業会では確実な除去を可能とする同工法の普及に向けて活動を本格化させる。

アスベスト除去に関しては建物の解体や改修が今後ピークに向かうとの予想の中、調査漏れや取り残しのない適正処理が強く求められているところ。工業会では確実な除去を可能とする同工法の普及に向けて活動を本格化させる。

アスベスト除去に関しては建物の解体や改修が今後ピークに向かうとの予想の中、調査漏れや取り残しのない適正処理が強く求められているところ。工業会では確実な除去を可能とする同工法の普及に向けて活動を本格化させる。

アスベスト除去に関しては建物の解体や改修が今後ピークに向かうとの予想の中、調査漏れや取り残しのない適正処理が強く求められているところ。工業会では確実な除去を可能とする同工法の普及に向けて活動を本格化させる。

アスベスト除去に関しては建物の解体や改修が今後ピークに向かうとの予想の中、調査漏れや取り残しのない適正処理が強く求められているところ。工業会では確実な除去を可能とする同工法の普及に向けて活動を本格化させる。

アスベスト除去に関しては建物の解体や改修が今後ピークに向かうとの予想の中、調査漏れや取り残しのない適正処理が強く求められているところ。工業会では確実な除去を可能とする同工法の普及に向けて活動を本格化させる。

アスベスト除去に関しては建物の解体や改修が今後ピークに向かうとの予想の中、調査漏れや取り残しのない適正処理が強く求められているところ。工業会では確実な除去を可能とする同工法の普及に向けて活動を本格化させる。

アスベスト除去に関しては建物の解体や改修が今後ピークに向かうとの予想の中、調査漏れや取り残しのない適正処理が強く求められているところ。工業会では確実な除去を可能とする同工法の普及に向けて活動を本格化させる。

業会は7月29日、設立総会「写真」を福岡市博多区の八仙閣で開催した。